

1 活動名 認知症支援に関する取り組みについて  
木質バイオマス利用促進について  
ちとせ版ネウボラについて

2 調査の目的

(1) 本市の課題

今後ますます増加傾向にある認知症の対応について初期対応の先進事例を研究。市域の8割を占める森林資源の有効活用の一つとして、チップボイラーの導入の効果について情報収集、課題調査。

子育て支援の中、妊娠から高校生になるまでの切れ目ない支援について、先進事例を視察。

(2) 調査の必要性

上記のとおり

(3) 調査項目

認知症の初期対応策、チップボイラー導入、ちとせ版ネウボラ

3 調査地選定理由

(1) 砂川市 認知症初期集中支援チームを設置して、早期発見早期治療に努めている先進地として視察

(2) 芦別市 木質バイオマス事業の取り組みとして、木質チップボイラーを導入、公共施設への設置、および木質チップの生産設備の先進事例を視察

(3) 千歳市 妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援として『ちとせネウボラ』を展開している現状を課題とともに視察

4 調査結果

(1) 実施日 令和元年7月15日～17日

(2) 出席者 6名 柿沢潔、上條俊道、村上幸雄、中島昌子、古沢明子、牛丸仁志

(3) 砂川市（令和元年7月16日）

砂川市立病院の物忘れ外来科などを含め現状の説明を受ける（詳細別紙）

(4) 芦別市（令和元年7月16日）

芦別市役所において担当課よりチップボイラー導入の経過など伺い、その後現地視察（詳細別紙）

(5) 千歳市（令和元年7月17日）

千歳市役所において母子保健課より『ちとせ版ネウボラ』の説明を受ける（詳細別紙）

(6) 成果・所感等

それぞれの詳細は別紙内にて記載のとおり

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費・その他

(2) 支出額 577,197円（日当9,000円、宿泊費29,600円、交通費55,310円）×6  
お土産代3箇所（砂川市、芦別市、千歳市）13,737円（送料共）